

● 文法を固める夏

Q：英語の力とは何か？

A：「読む（Reading）」「書く（Writing）」「聞く（Listening）」「話す（Speaking）」の4技能！ 正解！！
しかし、いきなりそれらの力を身に付けるのは難しい話です。まずは、それらの力の土台となる【語彙・語法】
【文法】を学び、固めましょう！

授業では、【文法】の「解説⇒演習」を行います。その中で、頻出の【語彙・語法】をピックアップして指導します。さあ、英語力の土台を固める夏の始まりです！

◆ A _カリキュラム	事前課題	確認テスト	事後課題
① 名詞、冠詞、代名詞、疑問詞	p.15/p.16 ④	—	直し/p.17 ③
② 不定詞 1 ①	p.19 ①	p.17 ③	直し p.21 ④ (1)～(3)
③ 不定詞 1 ②、動名詞	p.19 ②	p.21 ④ (1)～(3)	直し p.21 ④ (4)～(7)
④ 命令文、There is(are)～.の文 リスニング特訓①	p.23 ①③	—	直し p.25 ⑥ (5) (6) ⑦ (1)
⑤ 文型 1、2 リスニング特訓②	p.23 ② / p.35 ①	—	直し p.25 ⑥ (1)～(4) p.37 ⑤ (1) (2)
⑥ 接続詞	p.27 ①	p.25 ⑤	直し p.29 ⑤ (1)～(3)
⑦ 比較の文	p.27 ②	p.29 ⑤ (1)～(3)	直し p.29 ⑤ (4)～(6)
⑧ 現在完了形	p.31 ②	p.29 ⑤ (4)～(6)	直し p.33 ④ (2)～(4)
⑨ 会話文読解① リスニング特訓③	—	p.33 ④ (2)～(4)	直し
⑩ 会話文読解②／長文読解① リスニング特訓④	—	—	直し
⑪ 長文読解② リスニング特訓⑤	—	—	直し

※ 事前・事後課題は、丸付け・解き直しまで行うこと。授業前に、机の上にノートを開いておきましょう。

※ 確認テストの時間は、テスト（3分）＋丸付け、直し（2分）で行います。

【持ち物】英語専用ノート（ルーズリーフは望ましくない）この夏、新品のノートを一冊使い切れ！

◆ 知識・理解を見える形に整理して、闘える数学力を身に付ける

夏期講習は、方程式・関数・図形など問題を解くための《道具に磨きをかける》期間です。公式の理解・文章を式に表す力・解法の正確さを求めます。入試問題を解くための知識・技能を正確に身に付けましょう。

入試では、【関数】は図形や数式の処理との複合問題として難易度の高い問題として出題されます。しっかりトレーニングしていきましょう。

夏期講習会の数学では、①ノートを贅沢に使い知識を見えるように整理する。②いつでも使える武器として定着させるために家庭で解き直す。この2点に力を入れて臨みましょう！

カリキュラム		事前課題	確認テスト	事後課題
①	3.4.一次方程式、連立方程式	Grow Up ①	H30 A 日程	Brush Up ①
②	5.比例・反比例・一次関数	Grow Up ②	H30 B 日程	Brush Up ②
③	5.一次関数	Grow Up ③	H29 A 日程	Brush Up ③
④	6.一次関数の利用	Grow Up ④	H29 B 日程	Brush Up ④
⑤	7.場合の数・確率	Grow Up ⑤	H28 A 日程	Brush Up ⑤
⑥	3.二次方程式	Grow Up ⑥	H28 B 日程	Brush Up ⑥
⑦	8.資料の活用	Grow Up ⑦	H27 A 日程	Brush Up ⑦
⑧	9.平面図形・多角形の角	Grow Up ⑧	H27 B 日程	Brush Up ⑧
⑨	10.証明	Grow Up ⑨	H26 A 日程	Brush Up ⑨
⑩	11.空間図形	Grow Up ⑩	H26 B 日程	Brush Up ⑩
⑪	12.図形の性質	Grow Up ⑪	H25 A 日程	Brush Up ⑪

【持ち物】 数学専用ノート(ルーズリーフ不可)・定規・自信のない单元では教科書

点で覚えるな！線でつなげ！

高校入試で、より高い「思考力」・「判断力」・「表現力」を問う問題が多く出題がされています。これら、得点差が広がる問題に対応するためには、基礎知識の充実が大前提です。なぜなら、「判断」とは、「知識」をどのように組み合わせて結論を導くのかということであるからです。知識の欠如からは正しい判断は導かれません。

この夏は、基礎事項を身に付けることに力を入れるべきです。その上で、地理の「気候や産業、特徴」、歴史の「時代の出来事や人物」など、今まで「点」で覚えていた事गरら、いかに多く「線」で結び付けておけるかが「思考力」「判断力」という形態で問われることになります。基礎基本事項を丁寧に覚えなおし、それに関連する事項を広げていく練習をしましょう！

◆ A_カリキュラム		事前課題	事後課題 年表まとめ	年表テスト
①	7. 古代日本と貴族の社会(～平安)	p.29	p.2,4,6	—
②	8. 武士の成長と世界の動き	p.32	p.8,10,12	—
③	9. 全国統一と江戸時代	p.37	p.14,16,18	—
④	10. 開国と近代日本	p.41	p.20,24,26	—
⑤	11. 二度の世界大戦と現代日本	p.45	p.28,30,32	—
⑥	11. 二度の世界大戦と現代日本	—	p.22,36	—
⑦	4. 日本の姿、世界から見た日本	p.15	—	p.2,4,6
⑧	5. 日本の諸地域(1)	p.21	—	p.8,10,12
⑨	6. 日本の諸地域(2)	p.25	—	p.14,16,18
⑩	3. 世界の諸地域(2)	p.11	—	p.20,24,26
⑪	まとめ	—	—	p.28,30,32

※「基礎力充実」については冊子 p.1 の指示に従って家庭学習を進めること。授業の最初に確認テスト(冊子の内容で小テスト)を行います。

【持ち物】社会専用ノート

基礎学力の定着

主に中1内容、中2内容を学習します。各講座が単元のまとめと、一問一答式の問題、実戦的な問題で構成されています。まず大事な事は、授業内容の理解です。板書事項を丁寧にノートに書き写し、後々、見返せるノートにしましょう。各講座で不安な単元があれば必ず教科書等を使い自分なりに整理しておきましょう。愛知県入試では、中1～3の全範囲が出題されますが、点差がつく問題は限られています。

理科はいかに多くの単元を克服するかにかかっています。この夏、1つでも多くの単元を自分のものにしてください。間違えた問題はチェックしておき、2～3日おいてから、もう一度解き直すことを勧めます。

◆ A_カリキュラム	事前課題	確認テスト	事後課題
① 3.光・音	該当単元音読	—	直し&授業で指示
② 4.岩石	該当単元音読	—	直し&授業で指示
③ 3.音・力	該当単元音読	—	直し&授業で指示
④ 4.地震	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑤ 1.植物	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑥ 7.動物	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑦ 7.動物の分類	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑧ 8.オームの法則	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑨ 9.湿度	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑩ 8.磁界	該当単元音読	—	直し&授業で指示
⑪ 9.前線と気圧配置	該当単元音読	—	直し&授業で指示

【持ち物】理科専用の新しいノート（各単元をまとめるため）・教科書

『言葉の知識』を積み、『読みの基礎』を固めよう！

授業内では『文章のきまり』を使いながら、文章を読む演習を進めてもらいます。国語は文章の中に答えが必ず書いてあるのです。その場所さえ分かれば、答えは必ず導くことができるのです。その見つけ方をこの夏身につけていきましょう！

それぞれのテーマの基本となる文章読解を事前課題とします。「なぜその答えになるのか」を考えながら問題を解くようにしてください。解き終わったら、答え合わせまでしてください。

◆ A_カリキュラム	事前課題	確認テスト	事後課題
① 論説文(1)	p.2 1	—	解き直し
② 随筆文(1)	p.10 1	—	解き直し
③ 小説文(1)	p.18 1	—	解き直し
④ 古文(1)	p.26 1 2	—	解き直し
⑤ 漢文(1)	p.34 1 2	—	解き直し
⑥ 論説文(2)	p.6 1	—	解き直し
⑦ 随筆文(2)	p.14 1	—	解き直し
⑧ 小説文(2)	p.22 1	—	解き直し
⑨ 古文(2)	p.30 1 2	—	解き直し
⑩ 漢文(2)	p.38 1 2	—	解き直し
⑪ 漢字・語句・文法	p.43 2	—	p.42

【持ち物】夏期テキスト・ノート